

事業No.	9	事業名	ふれあい工房			担当課	クリーンセンター
仕分け結果							
廃止	5	民営化	1	市(要改善)	1	市(現行どおり)	
主な意見(委員)							
<p>【廃止】— 多数意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現行では建物の修繕経費が増大していることやクリーンセンターの建て替えなどもあるため廃止。協議会の人とはよく話し合いをしてほしい。 ・修繕の面や協議会も存続が厳しいという中では、廃止もやむを得ない。但し、理念は残した方がいいので、新クリーンセンター事業の中で残せるものがあれば引き継いでもらいたい。跡地の活用は別問題として検討してほしい。 ・売却を含めて有効活用してほしい。今までのアドバイザーへの丁寧な対応と教室利用者への代替場所の用意などきめ細かい配慮をお願いしたい。新クリーンセンター建設までにはまだ時間があるので、リサイクル材料で売れるようなものがつくれないかなど発想をかえて、全庁で検討したらどうか。現施設は6年ほどで雨漏りしたのであれば、しっかりと検証をして今後の設計にあたってほしい。 ・市民のための事業としては効果的ではなくなってきた。 ・時代も変わり施策も変わってきた中では老朽化した施設を大規模修繕するほどの必要性は感じない。協議会の方へはこれまでの知識を生かした活動の場の提供などの配慮をしていただきたい。資産活用については、全庁的な計画をたてて行ってほしい。 <p>【民営化】— 少数意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい工房は廃止して、民営化するために売却をすればいいのでは。但しポーリング調査はやる必要がある。 <p>【市(要改善)】— 少数意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廃止という意見だが、急に廃止となるのは難しいと思うので段階的廃止とした。 <p>【参考意見(当日出席できなかった委員)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでは事業を通して住民の交流、住民の地域社会への参加の場を提供するという意義、また住民への啓発活動としての効果は大きかっただろうが、現在ではその効果も薄れているように思われる。ただ、これまでの事業運営で得られたさまざまな人的資源や情報などを無駄にしないように、活動内容によっては、別の事業としてあらためて展開することを検討してみてもはどうだろうか。 							
傍聴者の意見・感想							
<p>【傍聴者の意見・発言】</p> <p>なし</p>							
市の方針							
対応方針	検討内容						
廃止	<p>令和元年度末でふれあい工房を閉鎖します。 ふれあい工房の閉鎖にあたっては、我孫子市ふれあい工房運営協議会と協議し、備品や資材の整理・売却を進めます。 ふれあい工房閉鎖後に、技術アドバイザーが活躍できる場の確保やあっせんに努めます。 令和7年度以降に予定している新たなリサイクルセンターの整備の中で、ふれあい工房運営事業の役割を一部存続させることを検討していきます。</p>						